

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955



皆さん、こんにちは。秋本番です。日に日に朝晩の冷え込みが厳しくなると思います。くれぐれもご自愛ください。さて、この原稿を書いているのは十月九日の火曜日。今日から予算委員会で論戦がスタートします。有意義で分かりやすい論戦が行われることを期待したいと思います。

ところで、福田首相は自らの内閣を「背水の陣」内閣と命名。ご承知のとおり「背水の陣」は中国の故事に由来します。「失敗の許されない場面で全力を尽くすこと」の喩えとして使われますが、実際はもっと奥の深い故事です。

三国志時代の武将、韓信が趙軍と戦いに臨んだ際、趙軍

二十万に対して韓軍三万。まさしく多勢に無勢。韓信は主力を、川を背にして陣取らせ、たほか、二つの遊撃隊を編成。遊撃隊のひとつに対し「趙軍はわが軍が逃げるのを見ると必ず城を空にして追撃してくる。その時、相手方の城に入ってわが軍の旗を立てよ」と指示して待機させました。一方、もうひとつの遊撃隊には趙軍に突撃させ、趙軍がこれを迎え撃つと、川を背にした主力の方へ逃げ帰らせました。すると、趙軍は「今が好機」と城を空にして全軍で追撃。韓軍の主力は後ろが川で逃げ場がないため必死に応戦。その間に待機していた遊撃隊が趙軍の城に入って相手の旗を取り払い、自軍の旗二本を打ち立てました。韓軍主力の必死の応戦に苦戦し、諦めて城に帰ろうとした趙軍が目にした光景は城に林立する韓軍の旗。趙軍は「城は占領された」と驚いて混乱に陥り、韓軍に挟撃された。

つまり「必死にのみを述べているそこには「機略」なりません。さて「政治家としてい」と宣言。小沢でも「背水の陣」を決するのは「機巧拙と言えそうだが勝つにしても、人にとって有益なところはなりません。小人の戯れ言」を呼んでいます。市町村の首長の登壇の戯れ言」と切っ地の市町村長が怒りの言葉は本来自謙遜して使うものれ言と思ってお許りなのですが、私はこの

というように使われる格言は正確に使わないですね。柎添伝えておきます



惨敗しまし

「戦う」こと

のでなく、

がなくては

、小沢さん

の最後の戦

さんにとつ

です。雌雄

略」の有無、

す。どちら

国民の皆さ

結果でなく

厚労大臣の

発言も物議

柘添さんは

言を「小人

て捨て、各

っています。

分の発言を

。「小人の戯

し頂きたい

「思います」

方。故事や

ないといけ

さんにもお

第3回 弘法さんを語る会

日時: 11月23日(祝日・金)午後1~3時

<受付は午後0時半から>

演題: 弘法大師と般若心経

場所: 専修院(日泰寺境内の西側)

講師: 大塚耕平(かわら版執筆者)

<早稲田大学・中央大学大学院客員教授、参議院議員>

定員: 50名(参加無料)

参加お申し込みは申し込み用紙(参道でお配りしています)をファックスで事務局までお送り頂くか、直接お届けください。お電話、電子メールでも受け付けます。当日参加も歓迎致しますが、定員一杯、会場一杯になりましたらメ切です。予めご了承ください。(お問い合わせ先 052-757-1955、担当・中村)

(ご参考)

第1回は平成16年12月「弘法大師の生涯」

第2回は平成17年12月「弘法大師の教えと覚王山史跡探訪」

安倍前内閣の

「^{はいすい}「^{しん}廃水の人」内閣

あつは
おねがい
します
……

トボトボトボトボ

背水の陣でしょ
背水の陣……

